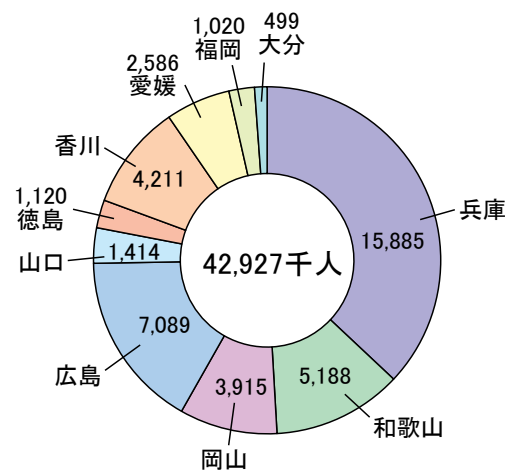


1 瀬戸内海の概況

表 1-11 利用者数の多い国立公園(平成 30 年)

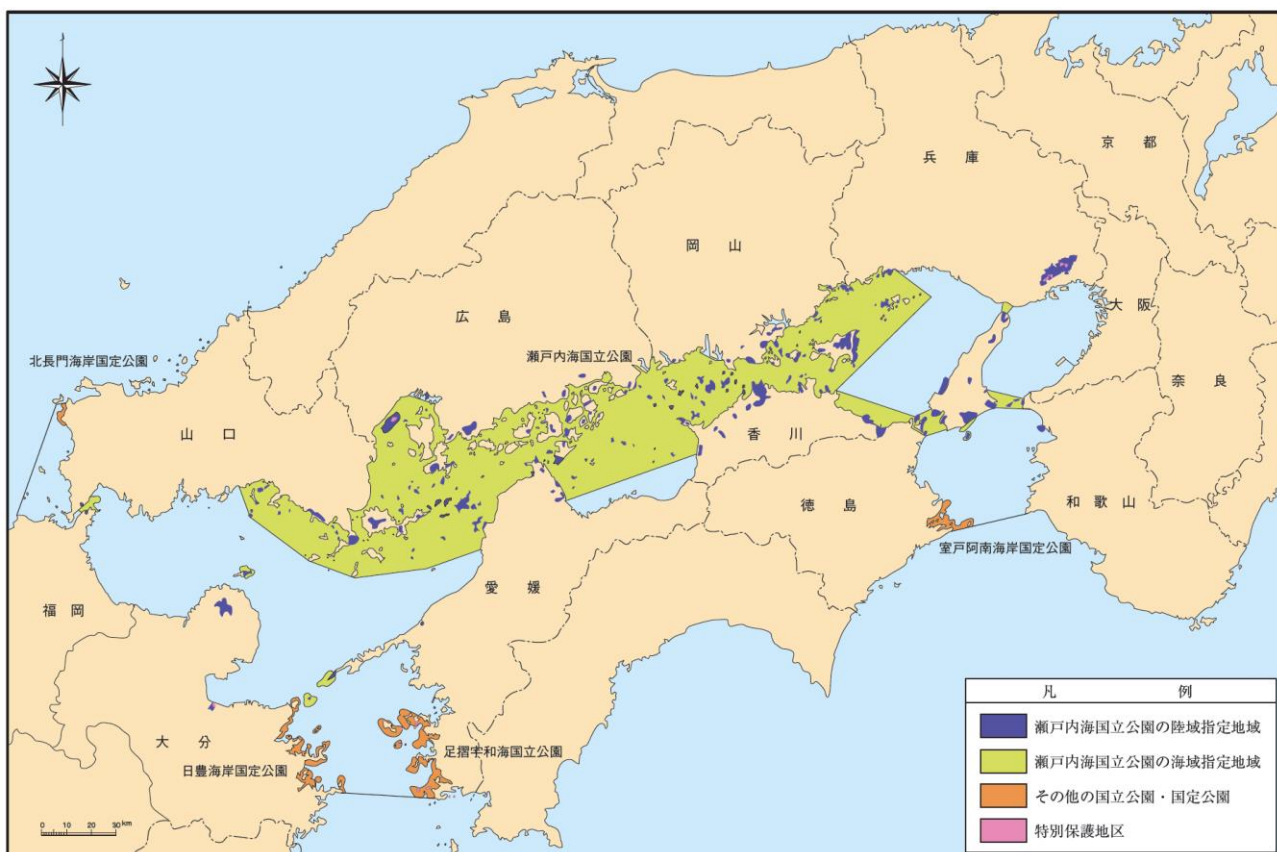
順位	公園名	利用者数 (千人)	国立公園全体に 占める利用者数 の割合(%)	平成29年 順位
1	富士箱根伊豆	135,833	36.6	1
2	瀬戸内海	42,927	11.6	2
3	上信越高原	21,850	5.9	3
4	阿蘇くじゅう	17,737	4.8	5
5	日光	16,811	4.5	4
6	吉野熊野	14,312	3.9	6
7	秩父多摩甲斐	13,728	3.7	7
8	霧島錦江湾	12,288	3.3	9
9	大山隠岐	12,149	3.3	8
10	支笏洞爺	10,697	2.9	10
上位10国立公園の合計		298,332	80.3	
34国立公園全体の合計		371,508	100	

出典：「自然保護各種データ」(環境省資料)より作成



瀬戸内海国立公園県別利用者数(平成 30 年)

出典：「自然保護各種データ」(環境省資料)より作成



- 注) 1. 「瀬戸内海」沿岸域の国立及び国定公園を図示した。
 2. 特別保護地区は「瀬戸内海」海域に係わる地区のみを図示した。

出典：環境省資料より作成

図 1-7 主要自然公園配置図